

地域を創造するNPO

頼れるふるさとネット通信

2012.3.15 №4

発行者 特定非営利活動法人頼れるふるさとネット

〒794-2506 愛媛県越智郡上島町下弓削 515

☎&Fax 0897-72-9188 (事務局 / やよみ亭・古川)

090-8247-5279 (事務局留守番携帯・平山)

0897-77-3072 (第2事務所/平山)

メール k-jitikenkyukai@amber.plala.or.jp

ホームページ <http://tayofuru.net/>

頼れるふるさとネット共催写真展

4月8日(日)~22日(日)の2週間、尾道の写真家村上宏治氏、弓削の写真家竹林清志氏及び「NPO頼れるふるさとネット」の共催で写真展が開催されます。場所は弓削島。この企画の目的は、NPOによる取材支援に対する町民への成果報告、観光誘致実験と、将来のビエンナーレ(2年に一度の美術展)開催に向けての布石と位置づけています。

広島の津軽三味線演奏家・田岡隸山氏も弓削島をテーマにした新曲をひっさげ参加。この島で何ができるか。この島をもり立てるには何が大切なのか。島の人々が一丸となって将来を考える機会になればと願っています。ご協力をよろしくお願い致します。(NPO頼れるふるさとネット・理事長)

村上宏治写真展 <弓削>

4月8日(日)~22日(日)

開場時間: 各会場 9:00~18:00頃まで (入場無料)

第一会場: 松原海岸

『この海の向こうに見えたもの、この海が教えてくれたもの』

貴方が貴方に出会う場所。備後灘、来島海峡、水島灘が交わる場所。

瀬戸内海の中心、弓削沖の海域に瀬戸の自然美を見た。

第二会場: やよみ亭(下弓削)

『Shall We Dance?』

世界最貧国一つ西アフリカの

ブルキナ・ファソから HIV・エイズレポート。

第三会場: 弓削神社拝殿

『弓削島のあの日、あの時、神への感謝』

写真という記録が記憶をよみがえらせた。

お問い合わせ先: (084) 930-4227(村上アーカイブス) 協賛協力:NPO法人頼れるふるさとネット



4月8日(日) 13:00~

『HIV・エイズ取材報告』

会場 せとうち交流館



パネリスト
村上宏治
竹林清志
司会 進行
古川優哉

世界最貧国ひとつ、西アフリカ・ブルキナファソに HIV・エイズの取材に弓削在住写真家竹林清志と向かったのが昨年の10月。そこで取材した現実の報告会を行います。

4月22日(日) 13:00~

『津軽三味線演奏会』 津軽三味線演奏家

田岡隸山

会場 弓削神社拝殿



弓削をイメージした新曲を奉納、奏です。村上の写真を見て感じた田岡氏が即興演奏を披露いたします。

招待券あります。先着十名まで。お問い合わせ先: (084) 930-4227(村上アーカイブス)



監督: 是枝裕和作品

● 阿部寛・夏川結衣・YOU・樹木希林・原田芳雄ほか



場所: やよみ亭交流室(下弓削 515)

日時: 3月15日(木)午後7時より

参加無料: 問い合わせ: 72-9188

高須賀 優 油絵制作&作品展示

やよみ亭「創作活動拠点プログラム」

期間 4月5日~4月15日(予定)午前9時~17時

場所 やよみ亭内

●NPO「頼れるふるさとネット」では若い芸術家の創作活動を支援することで世に出る手伝いをし、併せて定住への道筋をつける「創作活動拠点プログラム」があります。

今回はその実効性を見定めるため、著名な画家・高須賀優氏による油絵制作と完成作品の展示を行います。

●期間中、制作の妨げにならない範囲で製作過程の見学も許されます。



完成作品は5月1日から31日まで伊東市で開催される伊豆高原アートフェスティバルに出展され、上島町の宣伝もしていただきます。

尊いということ

安藤朋生 茨城県



2012年3月1日、木曜日。娘が高校を卒業しました。

曇天模様の空の下ひっそりと式は執り行われ、高校生活に幕が降りたのです。厳かというよりは本当にひっそりとした式でした。

生徒数の多くない高校というのもあるのか、自分達の頃とは

時代が違うせいなのか、子供達は皆笑顔で元気ですね!と大手を振って学校を後にします。袴姿の先生もたった1人だけ。なんというか質を感じるような寂しい気持ちになりました。袴がどうのではなくいけれど、季節の行事にすぎないといった感じにとれたのです。

高校生ともなれば多感で様々なことが起こります。多感な子供達に立ち向かうのは本当に根

気のいることだと思います。金八先生のような熱い魂を感じるのは難しくなってきてるのかもしない。

減少傾向にある子供達。増加傾向にある高齢者。少ないからこそ大切に思い多いからといつて粗末に扱うのは可笑しな話。

なぜ本当に必要な場所に必要なことが届けられないのか、どうして偏りがあるのか。なら自分に何が出来るのだろう。小さい

ことからコツコツと、これが一番です。

真壁の町は毎年2月2日~3月3日まで雛祭りが行われます。初めは小さな事でしたが今では立派なイベントとなりました。町の人達のコツコツが大きい実となって話題に上るまでになつたのです。

一竿風月。1本の釣り竿と共に自然の風物を楽しむという意味があります。島に良く似合った言葉じやないですか?島も田舎町も心1つあれば。

